

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム 作 楽

日付 平成19年8月29日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 ケアセンター介護支援専門員経験5年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

設立して4年近くの歳月が流れてきたグループホームである。ホームの運営の中で、代表者と管理者の業務分担を明確に分離して、責任を持ってそれぞれの領域を進めながら、お互いに共有すべきことも明確にしている。代表者は法律や制度面からホームの運営に関する企画や手続き等を行い、ホームの理念や計画を作成し、現場の管理者や職員にその運用を促す。管理者は、利用者と家族に対する現場でのケア全般や相談と報告に関する業務に責任をもって実行している。当然両者の間で共有すべき業務や運用についてはしっかり協議しながら組み立てていくが、代表者と管理者の間で責任分担を明確にして、日常業務を任せるところは信頼関係の下で責任を持って遂行している。このように業務分担を明確にしているところは一般企業のような考えが浸透しており、介護の現場では、むしろ新しい存在だと感じた。利用者も家族も安心してホームで暮らす為には、代表者や管理者・職員がしっかりと極め細かい業務をこなしている事で、ゆったりとしたリビングルームでの生活が保たれる。家族も安心して利用者を任せ、いつでも相談や気持ちを聞いてもらえる職員に信頼の意を持っているということになるだろう。現実に家族からのアンケートを見ると、職員を信頼している気持ちは「職員が生き活きとしている様子」を認めており、「自分の家族が安心して生活をしている実態」を理解していた。

“せかせかしない”“バタバタしない”“早口でしゃべらない”これがこのホームの三原則で、職員の気持ちが敏感に利用者へ伝わることを良く理解し、ゆったりと一人ひとりの利用者に向き合うよう心掛けている。利用者は、いつも『ありがとう』と職員に言ってくれている。利用者は色々な場面で、職員に対する感謝の意を表わしている場面にも多く接することができた。

このような体質が、利用者には勿論のこと、家族や地域の人々にもホームの存在価値を認識してもらえ、地域密着型サービスを提供していく事業所の新しい模範的なシステムが誕生していくであろう。

特に改善の余地があると思われる点

これからは、このような運営システムが定着していけば、代表者や職員の日常行う業務が明確になり、その業務を具体的且つ客観的な表現で計画や目標を設定することにより、一つ一つの事柄を着実に改善していくことができる。代表者と管理者・職員が協力して自らの業務を見つめ、改善すべきことを限りなく抽出してスケジュールを定め、具現化することが、グループホームのサービス評価となる。外部評価も協力して、グループホームのサービスの向上に結び付けていきたい。そして岡山県の中で最も優れたホームになるよう期待している。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価に関して…: 理念を着実に実現するために、職員が月間目標と年間目標を定めて、業務遂行の心構えや利用者への接し方を定めている。この仕事の進め方は、あらゆる業務推進の力強い糧になるであろう。成果を見守っていきたい。</p> <p>2. 全体を通して…: グループホームの運営方針を、職員のケアに対する考え方及び利用者のホームでの生活目標として定めている。代表者は職員を信頼し、より良いケアに専念できるよう支えている。代表者・管理者・職員は思いを一つにして、利用者の立場に立って、ホームでの生活を支援しているので、本人がいつまでも安心してこのホームで暮らしていけることを家族は望んでいる。このことは、家族のアンケートからも、家族が安心して信頼していることが伺えた。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価に関して…: 利用者の症状の変化は、日常的に不安を誘っていく。この気持は、普通の人では考えられない程敏感になって、気持の変動が時々、日々起こっているだろう。その心理状態をちゃんと理解して環境の整備をしていこうとしていることは、認知症ケアに関して素晴らしい対応だと思う。</p> <p>2. 全体を通して…: 住宅地にある広いスペースにゆったりとしたホームを立地している。2つのユニット共、リビングルームに面した中庭があり、プランターで栽培された野菜や朝顔などの花々が育っており、利用者も水遣りをして「毎朝いくつ咲くか楽しみ」と言っている。片方のユニットでは、中庭の軒先に燕が子育て真最中で、このような雰囲気リビングルーム全体に漂っている。利用者はそれぞれに気の向くまま自由にゆったりとした生活をしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人ですることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価に関して…: 管理者・職員は日々研鑽を重ねケアに努力しており、利用者・家族からも信頼をされ、ゆったりとした生活を送っている。しかし、ケアはこれで良いという限界はなく、一つ一つの改善によって素晴らしいグループホームが構築されていく。そのことを良く理解して、介護計画の立案と実行について、もう一度原点に戻って改善していこうとしていることは素晴らしいことである。</p> <p>2. 全体を通して…: 職員の動きや利用者への関わりについては、利用者一人ひとり能力や希望を尊重して自然な雰囲気と接していることが良くわかる。職員の活き活きとした表情も明るいので、利用者も安心して過ごせている。このことは、家族アンケートからも見受けられ、家族が安心して利用者の生活を委ねていることで立証されている。今後は今まで以上に利用者の精神面や身体面の状況を出来るだけ客観的に捉え、それぞれに応じた介護目標を具体化し、ケアに結び付けられる工夫を重ねてもらい、更に質の高いケアを見出していくことを期待している</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価に関して…: 特に改善事項は出ていないが、日常行っている地域への貢献及び連携を積み重ねて、地域密着型サービス提供の積極的な事業所になってもらいたい。</p> <p>2. 全体を通して…: 運営推進会議は、行政・町内会関係者・認知症介護団体・家族代表が出席して親密な関係を保ちながら運営しており、地域の中に交流が広がっている。このホームを中心に、津山市地域での活動の波及効果の原動力になってくるだろう。代表者が中心となって方針を定め、管理者・職員との思いが一致して、日常の運営については、しっかりと責任分担をして遂行していることは素晴らしい。</p> <p>利用者の精神的・身体的機能の低下を防ぐため、日々ハピリ活動を重ねて、色々な面でいつまでも元気で生活してもらえることを基本としている。当り前のことを当り前にするというのがモットーである。</p>		